

## ■ 一般目標（GIO）

歯内療法の概要，すなわち齶蝕およびその継発症である歯髄炎や根尖性歯周炎の症状と治療法を理解し，その使用器具，材料および薬剤などに関する知識を身につける。また，それに関連した診療補助ならびに患者の持つ苦痛と訴えに対する対処法について学ぶ。

## ■ 到達目標（SBOs）

- ①外科的歯内療法の種類およびその症例を説明できる。
- ②歯の外傷の分類および完全脱臼した歯の保存方法を説明できる。
- ③歯内療法における安全対策に対してその種類と予防と対処法を説明できる。
- ④歯内療法における歯科衛生士の役割に対して説明できる。
- ⑤歯内療法処置の診療補助業務に対して説明できる。

■教科書：歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学（医歯薬出版）

■参考書：エンドドンティクス 第6版

■授業時間：金曜日 13:00～13:50

■オフィスアワー：大原 絹代（oohara.kinuyo@nihon-u.ac.jp）

■授業の方法：スライドを使用し，適宜プリントを配布する。

■準備学習・ 事前に必ず教科書を読み，授業内容を理解しておくこと。

準備学習時間：各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

■成績評価方法：定期試験（100%）を基本とする。

■注意事項：講義に必ず教科書を持参すること。

■実務経験：大原 絹代：現在，日本大学歯学部歯科保存学第Ⅱ講座に在籍しており，歯科治療の経験を基に歯科医師の立場から歯内療法学について，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

## ■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 6月14日 大原 絹代	1. 歯内療法学の総論 (教) pp. 193-203	・ 第1学年で学んだ内容を復習する。
第2回 6月21日 大原 絹代	2. 外科的歯内療法 (教) pp. 193-203	・ 根管治療のみでは治癒しない症例に適応となる外科的歯内療法について学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第3回 6月28日 大原 絹代	1. 歯の外傷 (教) pp. 204-208	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯の外傷における分類，処置および対処法について学ぶ。</li> </ul>
第4回 7月5日 大原 絹代	1. 歯内療法における安全対策 (教) pp. 209-213	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯内療法的領域で起こりうる医療事故に対する予防および対処法について学ぶ。</li> </ul>
第5回 7月12日 大原 絹代	1. 歯内療法における歯科衛生士の役割 (教) pp. 209-213	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯内療法領域において必要とされる歯科衛生士の役割および業務を学ぶ。</li> <li>・ 歯内療法に使用する多種多様な器具・器材の管理法について理解する。</li> </ul>